

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 20-248

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・ 研究課題名：焦点性不整脈に対するカテーテルアブレーションにおける Rhythmia mapping system と新規電位解析システム「Lumipoint」の有効性
- ・ 目的：Rhythmiaの焦点性不整脈に対する有効性について検討すること
- ・ 研究期間：承認日～2021年 12月 31日
- ・ 研究対象：2014年4月1日～2020年12月31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

：Rhythmia 使用症例と非使用例で比較する項目

性別、施行時年齢・体重・身長、観察期間、左室拡張末期径、左室駆出分画、血中 BNP 値、術前の 24 時間心電図での不整脈出現率、合併した不整脈の有無と種類、使用した 3D マッピングシステム、マッピング時間、マッピングした総心拍数、マッピングしたポイント数、X 線透視使用時間、成功通電部位での prepotential の有無、成功通電部位の局所電位の 12 誘導心電図の P 波または R 波からの先行度、成功通電部位のペースマッピングにおける 12 誘導心電図の一致率、治療成功率、再発率、合併症など

Lumipoint 非使用時と使用時で比較する項目

マッピングシステムが示すそれぞれの最早期興奮部位の局所電位の先行度、それぞれの最早期興奮部位から成功通電部位の距離など

③ 利用する者の範囲

小児心臓科 連 翔太、住友 直方、鍋嶋 泰典、葭葉 茂樹、小島 拓朗、  
小林 俊樹

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：住友直方